

## 工 衛 生

事業名		子ども医療費助成事業		会計	01	一般会計	予算区分	経常
政 策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算	款	04	衛生費	
				算	項	01	保健衛生費	
				科	目	01	保健衛生総務費	
施 策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり			目	01	保健衛生総務費	
主管課		子ども家庭部 子ども家庭課		主管課長		矢野 和彦	事業コード	03 — 05
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	0歳から中学3年生までの子どもの保護者			子どもの保健対策の充実及び経済的負担の軽減を図り、子どもの保健の向上及び子育て支援の充実に寄与する。				
事業内容	子どもの医療に要する費用を負担する保護者に対し、その費用の全部又は一部を助成する。 助成方法：受給券による現物給付又は償還払い							
事業の実績	子ども医療費支給件数（現物給付）		246,084	件	決算額	事業費計		428,953,063 円
	子ども医療費支給件数（償還払い）		6,472	件		財源内訳	国庫支出金	0 円
							県支出金	169,723,000 円
							分担金・負担金	0 円
							使用料・手数料	0 円
							基金繰入金	0 円
							地方債	0 円
				その他特定財源	234,404 円			
				一般財源	258,995,659 円			
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無

事業名		乳児家庭全戸訪問事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算	款	04	衛生費	
				算	項	01	保健衛生費	
				科	目	01	保健衛生総務費	
施 策	4-3	誰もが安心して暮らすことのできる生活支援づくり			目	01	保健衛生総務費	
主管課		健康福祉部 健康増進課		主管課長		河原 智明	事業コード	03 — 52
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	流山市に居住する生後4か月までの乳児のいるすべての家庭			子どもを安心して生み、健やかに育てる。				
事業内容	生後4か月までの乳児のいる家庭に対して、保健師、助産師の専門職が訪問し、育児に関する不安や悩みの聴取、相談、子育て支援に関する情報の提供を行い、安心して子育てができるようにする。支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供に結びつけ、虐待予防や産後うつ状態の早期対応ができる。							
事業の実績	こんにちは赤ちゃん訪問対象者数		1,704	人	決算額	事業費計		3,329,400 円
	こんにちは赤ちゃん訪問実施数		1,554	人		財源内訳	国庫支出金	0 円
							県支出金	0 円
							分担金・負担金	0 円
							使用料・手数料	0 円
							基金繰入金	0 円
							地方債	0 円
				その他特定財源	0 円			
				一般財源	3,329,400 円			
指標で表すことができない定性的な成果	育児困難リスクを抱えた家庭に対しての早期介入により、虐待予防と産後うつ状態の早期対応ができている。		繰越・継続費の状況		繰越の有無	無	継続費の設定	無

事業名	母子健康診査事業		会計	01	一般会計	予算区分	経常	
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	04	衛生費		
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		項	01	保健衛生費		
				目	01	保健衛生総務費		
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	河原 智明		事業コード	04 - 01	
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）					
	市民（妊婦・乳幼児とその保護者等）		子どもを安心して産み、健やかに育てることができる。					
事業内容	集団健康診査（1歳6か月児健診・3歳児健診） 医療機関委託健康診査（妊婦一般健康診査・乳児一般健康診査）、3か月児健康診査を通し、妊娠、出産、育児と一連の流れの中で、母子保健の推進向上を図る。							
事業の実績	1歳6か月・3歳児健診受診率	93.5 %	決算額	事業費計		202,980,484 円		
	3か月健診・妊婦健康診査・乳児健康診査受診率	93.7 %		国庫支出金	0 円			
				県支出金	47,323,000 円			
				分担金・負担金	0 円			
				使用料・手数料	0 円			
				基金繰入金	0 円			
				地方債	0 円			
その他特定財源	0 円							
一般財源	155,657,484 円							
指標で表すことができない定性的な成果	健診後のフォローを随時、担当保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士が家庭訪問、電話、面接等を通じて実施しており安心・安全な育児につなげている。		繰越の有無		無	継続費の設定	無	
	繰越・継続費の状況							



母子健康診査の様子

事業名	放射線に係る健康相談事業		会計	01 一般会計		予算区分	政策	
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	04 衛生費			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		項	01 保健衛生費			
			目	01 保健衛生総務費				
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	河原 智明		事業コード	06 - 52	
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）					
	乳幼児の保護者等		放射線に係る健康相談を実施し、健康不安の軽減を図る。					
事業内容	東京電力福島第1原子力発電所の事故後、本市においてもホットスポットといわれ放射線量が高いなど、マスコミ等で報道されたことにより、特に子どもをもつ親や妊産婦から健康に関する不安が強くなってきた。その不安を軽減するため専門家による放射線に係る健康相談を開設した。							
事業の実績	相談件数	12 件		決算額	事業費計		240,000 円	
					国庫支出金	0 円		
					県支出金	0 円		
					分担金・負担金	0 円		
					使用料・手数料	0 円		
					基金繰入金	0 円		
					地方債	0 円		
			その他特定財源	0 円				
			一般財源	240,000 円				
指標で表すことができない定性的な成果	相談後のアンケート結果では、放射能に対する正しい知識を知ることによって「安心した」「良かった」などの声が多く、むやみに不安を抱くことはなく、子育てができる環境づくりができたものとする。		繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



放射線に係る健康相談の様子

事業名	保健センターE S C O事業		会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政 策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款	O4	衛生費	
施 策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		項	O1	保健衛生費	
				目	O1	保健衛生総務費	
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	河原 智明		事業コード	10 - 56
事業目的	対象（誰を・何を） 流山市保健センター・地球		意図（どういう状態にしたいのか） 光熱水費の削減、CO2排出量の削減を図るもの。				
事業内容	E S C O事業者が設置、保有する空調設備等を使用し省エネに関する包括的なサービスを受け保健センターの光熱水費を削減し、CO2排出量を削減するもの。						
事業の実績	CO2排出量削減率	41.4	%	決算額	事業費計		4,756,500 円
	光熱水費削減額	1,899,098	円		国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
その他特定財源	0 円						
一般財源	4,756,500 円						
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



保健センター空調設備

事業名	子宮頸がんワクチン接種費用助成事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	04 衛生費		
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり	目	項	01 保健衛生費		
				目	02 予防費		
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	河原 智明		事業コード	01 — 54
事業目的	対象（誰を・何を） 中学1年生から高校1年生の女子		意図（どういう状態にしたいのか） 唯一ワクチン接種により予防できるがんである子宮頸がんの予防。				
事業内容	子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を予防するワクチンの接種費用を助成するものである。（平成25年度からは定期接種となる。） 市内契約医療機関等での個別接種で1人3回の接種が必要。						
事業の実績	対象者数	2,804	人	決算額	事業費計		30,937,870 円
	接種者数（実）	520	人		国庫支出金	13,934,000 円	
	接種者数（延）	1,924	人		県支出金	0 円	
	接種者率	18.5	%		分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
			地方債	0 円			
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	17,003,870 円			
指標で表すことができない定性的な成果	対象者数は、平成22年度は中学2年生のみ、平成23年度、平成24年度は、中学1年生から高校1年生までの女子の全数を計上しているため、接種率としては減少する。		繰越の有無		無	継続費の設定	無
			繰越・継続費の状況				

事業名	ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予算科目	款	04 衛生費		
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり	目	項	01 保健衛生費		
				目	02 予防費		
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	河原 智明		事業コード	01 — 55
事業目的	対象（誰を・何を） 生後2か月から5歳未満児の市民		意図（どういう状態にしたいのか） ヒブ菌（b型インフルエンザ菌）と肺炎球菌（小児）を起因とする感染症の予防及び感染時の重症化を防ぐ。				
事業内容	ヒブ菌（b型インフルエンザ菌）と肺炎球菌（小児）を起因とする感染症の予防及び感染時の重症化や髄膜炎による死亡を予防すること目的に実施する予防接種に際し、予防接種費用を助成するものである。（平成25年度から定期接種となる。）						
事業の実績	対象者数（ヒブ・肺炎）	8,290	人	決算額	事業費計		142,002,467 円
	接種者数（実）（ヒブ・肺炎）	2,043	人		国庫支出金	63,947,000 円	
	接種者数（延）（ヒブ・肺炎）	6,888	人		県支出金	0 円	
	接種率（ヒブ・肺炎）	24.6	%		分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
			地方債	0 円			
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	78,055,467 円			
指標で表すことができない定性的な成果	対象者数は、平成23年度、平成24年度共通して0歳から5歳未満までの人口となっており、接種終了者も含まれている。		繰越の有無		無	継続費の設定	無
			繰越・継続費の状況				

事業名	健康増進事業		会計	01 一般会計		予算区分	経常		
政策	04 4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）		予算科目	款	04 衛生費				
施策	4-4 健康で明るい暮らしづくり			項	01 保健衛生費				
			目	02 予防費					
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	河原 智明		事業コード	02 - 01		
事業目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	市民			市民一人一人が自らの健康を守るために、病気に対する正しい知識を持ち、生活習慣を改善し、病気の発病を予防していくことができる。					
事業内容	各種成人健（検）診を実施し、病気の早期発見・早期治療につなげる。がん検診推進事業で、子宮がん・乳がん・大腸がん検診について特定の年齢の市民に検診無料クーポン券と正しい知識普及のための検診手帳を配布し、受診勧奨を行う。個々の健康問題の解決のため、健康教育・健康相談・訪問指導を実施する。								
事業の実績	胃がん検診受診率	14.3	%	決算額	事業費計		243,620,627 円		
	結核・肺がん検診受診率	18.7			国庫支出金	9,124,000 円			
	子宮頸がん検診受診率	30.4	%		県支出金	4,451,000 円			
	乳がん検診受診率	37.6			分担金・負担金	0 円			
	大腸がん検診受診率	23.1	%		使用料・手数料	0 円			
	検診時健康教育参加者数	13,232			人	基金繰入金	0 円		
						地方債	0 円		
				その他特定財源	3,641,700 円				
				一般財源	226,403,927 円				
指標で表すことができない定性的な成果			繰越・継続費の状況	繰越の有無		無		継続費の設定	無



健康診断の様子

事業名	夜間小児救急医療確保事業		会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款	O4	衛生費	
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		項	O1	保健衛生費	
				目	O3	診療所費	
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	河原 智明		事業コード	02 - 51
事業目的	対象（誰を・何を） 夜間の小児緊急患者		意図（どういう状態にしたいのか） 市内の医療機関が診察していない時間帯を補うことで、安心して診療を受けられるようにする。				
事業内容	市内病院に平日夜間診療所の業務終了後の夜間小児の救急医療を確保するため、夜間の救急体制を整備する病院に対し、補助を行っていくものである。						
事業の実績	利用者数(小児科)	1,508	人	決算額	事業費計		6,272,000 円
					財源内訳	国庫支出金	0 円
						県支出金	0 円
						分担金・負担金	0 円
						使用料・手数料	0 円
						基金繰入金	0 円
						地方債	0 円
				その他特定財源	0 円		
				一般財源	6,272,000 円		
指標で表すことができない定性的な成果	夜間の子供の急病に対し、対応できることで安心感がある。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無

事業名	平日夜間診療事業		会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	予 算 科 目	款	O4	衛生費	
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		項	O1	保健衛生費	
				目	O3	診療所費	
主管課	健康福祉部 健康増進課		主管課長	河原 智明		事業コード	03 - 51
事業目的	対象（誰を・何を） 平日夜間の急病患者		意図（どういう状態にしたいのか） 市内の医療機関が診療していない時間帯を補うことで、安心して診療を受けられるようにする。				
事業内容	流山市医師会及び薬剤師会に委託し、保健センター内の「平日夜間・休日診療所」において祝日を除く月曜日から土曜日の午後7時から午後9時の間、急病患者の診療を行う。						
事業の実績	利用者数	773	人	決算額	事業費計		27,169,800 円
					財源内訳	国庫支出金	0 円
						県支出金	0 円
						分担金・負担金	0 円
						使用料・手数料	0 円
						基金繰入金	0 円
						地方債	0 円
				その他特定財源	0 円		
				一般財源	27,169,800 円		
指標で表すことができない定性的な成果	受診者及び家族の安心度と満足度及び疾患の軽快度。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無

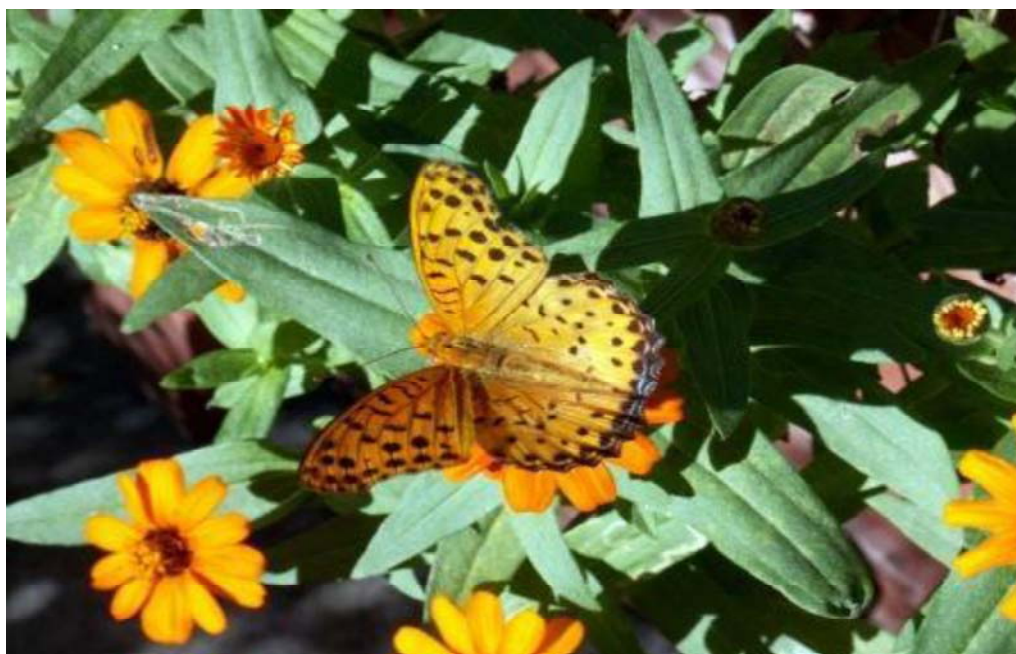
事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業		会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政策	O2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款	O4	衛生費	
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		項	O1	保健衛生費	
主管課	環境部	環境政策課	目	O4	環境衛生費		
主管課長	環境部 環境政策課		目	O4	環境衛生費	事業コード	05 - 51
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	市域及び市役所の事務事業		温室効果ガスの削減、地球温暖化の防止。				
事業内容	地球温暖化対策実行計画に基づいて、市域全体の二酸化炭素排出量を削減するため、啓発チラシの配布、公用自転車の普及促進、環境家計簿コンテスト（節電チャレンジ）、一般家庭への省エネ啓発機器の貸出し等を実施する。平成25年1月17日にクリーンセンターのごみ焼却施設屋上部に太陽光発電設備を設置する「屋根貸し」のモデル事業について民間事業者と基本協定を締結した。						
事業の実績	公用自転車の導入台数	3	台	決算額	事業費計		1,643,103 円
	環境家計簿コンテスト結果	260	枚		国庫支出金	0	円
	省エネ啓発機器貸出世帯	45	世帯		県支出金	0	円
					分担金・負担金	0	円
					使用料・手数料	0	円
					基金繰入金	0	円
					地方債	0	円
			その他特定財源	0	円		
			一般財源	1,643,103	円		
指標で表すことができない定性的な成果	地球温暖化対策事業への理解の向上、活動団体の連携強化。		繰越の有無		無	継続費の設定	無
	繰越・継続費の状況						



電気自動車



事業名	生物多様性地域戦略推進事業		会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政 策	O2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	O4	衛生費	
施 策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		項	O1	保健衛生費	
				目	O4	環境衛生費	
主管課	環境部 環境政策課		主管課長	染谷 忠美		事業コード	05 - 52
事業目的	対象（誰を・何を） 市内の多様な自然環境、市民		意図（どういう状態にしたいのか） 市内における生物多様性の保全と持続可能な利用。				
事業内容	「生物多様性ながれやま戦略」に基づき、重点拠点においてモニタリング調査を継続して行うことで基盤情報の整備に努めるほか、各小学校での「グリーンウェイ」（植樹事業）により緑の創出を図る。また、グリーンフェスティバル等のイベントで生物多様性の大切さについて啓発する。平成24年度は重点拠点の一つと位置づけている土地について地権者から寄附の申し出を受け、適正に管理するため測量等を行った。						
事業の実績	生物多様性の意味について理解している市民の割合	22.5 %	決算額	事業費計		7,132,847 円	
				国庫支出金	0 円		
				県支出金	0 円		
				分担金・負担金	0 円		
				使用料・手数料	0 円		
				基金繰入金	0 円		
				地方債	0 円		
		その他特定財源	0 円				
		一般財源	7,132,847 円				
指標で表すことができない定性的な成果	生物多様性情報の共有・蓄積、活動団体の連携強化。	繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



地球温暖化により関東でも発見されるツマグロヒョウモン

事業名	地球温暖化対策奨励事業		会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政 策	O2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	O4	衛生費	
施 策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		項	O1	保健衛生費	
				目	O4	環境衛生費	
主管課	環境部 環境政策課		主管課長	染谷 忠美		事業コード	05 - 60
事業目的	対象（誰を・何を） 太陽光発電設備を設置する市民		意図（どういう状態にしたいのか） 温室効果ガスの削減、地球温暖化の防止。				
事業内容	二酸化炭素の排出量削減に効果のある太陽光発電設備の設置者に対して、奨励金を交付し、太陽光発電設備の普及・拡大を図る。						
事業の実績	奨励金交付実績	84	件	決算額	事業費計		8,957,000 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	5,250,000 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	3,707,000 円			
指標で表すことができない定性的な成果	地球温暖化対策事業への意識の向上。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



市役所第2庁舎に設置してある太陽光発電設備

事業名	緑のカーテン事業		会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政策	O2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	O4	衛生費	
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		項	O1	保健衛生費	
				目	O4	環境衛生費	
主管課	環境部 環境政策課		主管課長	染谷 忠美		事業コード	05 - 68
事業目的	対象（誰を・何を） 市民、自治会、学校、公共施設		意図（どういう状態にしたいのか） 地球温暖化防止に寄与する。				
事業内容	二酸化炭素排出量の削減に有効といわれているゴーヤについて、育て方の講習会を開催するとともに公共施設及び自治会を通じて市民にゴーヤの苗や種を配布することにより、緑のカーテンの普及を図る。平成24年度から本事業を「流山ゴーヤカーテン普及促進協議会」に業務委託し事業の推進を図っている。						
事業の実績	申込自治体	82	件	決算額	事業費計		1,169,155 円
	緑のカーテン実施率	18.2	%		国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	1,169,155 円			
指標で表すことができない定性的な成果	節電、地域コミュニティの向上。		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無



流山市役所のゴーヤカーテン

事業名	まちをきれいに志隊事業		会計	O1	一般会計	予算区分	政策
政 策	O2	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	O4	衛生費	
施 策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		項	O1	保健衛生費	
				目	O4	環境衛生費	
主管課	環境部 環境政策課		主管課長	染谷 忠美		事業コード	06 - 56
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	市民		生活環境の向上。				
事業内容	「流山市路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例」の実効性を確保するため、路上喫煙及びポイ捨て、犬のふん放置防止のパトロール等を実施し、マナーの向上を図り、街の美化を推進する。平成24年度は、緊急雇用制度を活用しパトロールを強化するとともに、ボランティアによる「まちをきれいに志隊」を発足させ、各地域で清掃活動や啓発活動を行った。						
事業の実績	犬ふん放置禁止指導件数	4,512	件	決算額	事業費計		10,581,138 円
	「まちをきれいに志隊」登録者数	64	人		国庫支出金	0 円	
					県支出金	10,458,000 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	123,138 円			
指標で表すことができない定性的な成果	マナーの向上、地域環境美化への貢献。		繰越の有無	無	繰越の設定	無	繰越・継続費の状況



まちをきれいに志隊の清掃活動

事業名	ごみゼロ作戦用放射能対策事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	04	衛生費	
施 策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		項	01	保健衛生費	
主管課	環境部	環境政策課		目	04	環境衛生費	
主管課長	環境部 環境政策課		主管課長	染谷 忠美		事業コード	06 - 58
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	剪定枝、落葉、草		生活環境の保全。				
事業内容	春と秋で実施するごみゼロ運動で発生した剪定枝・落葉・草は、クリーンセンターで焼却処分していたが、焼却灰から高い放射線量が検出されたことから、森のまちエコセンターまでの収集・運搬業務を委託する。						
事業の実績	剪定枝・落葉・草回収量	58.4	t	決 算 額	事業費計		1,848,000 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	1,848,000 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



ごみゼロ運動で発生した剪定枝や落葉

事業名	放射能対策事業		会計	01	一般会計	予算区分	経常
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款	04	衛生費	
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		項	01	保健衛生費	
				目	05	公害対策費	
主管課	環境部 環境政策課		主管課長	染谷 忠美		事業コード	01 - 06
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	市内公共施設及び住宅		流山市除染実施計画を踏まえ、必要な箇所の除染を行い、放射線量の低減化を図るとともに市民の不安解消に努めます。				
事業内容	市除染実施計画に基づき、福島第一原子力発電所事故由来の追加被ばく線量を年間1 msv以下にすることを目指します。子どもが多く利用する施設である保育園、幼稚園、小中学校、公園などは、測定点の高さ5センチメートルで毎時0.23 μSv/h未満となるよう除染作業を進める。住宅は、測定点の高さ1メートルで毎時0.23 μSv/h以上の箇所について部分的な除染を行う。						
事業の実績	年間追加被ばく線量	1	msv	決算額	事業費計		95,230,931 円
	子どもの多く利用する施設の1時間当たりの線量	0.23	μSv/h		国庫支出金	83,803,045 円	
					県支出金	7,190,201 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
通学路	0.23	μSv/h	基金繰入金	0 円			
他の公共施設、民有地等	0.23	μSv/h	地方債	0 円			
			その他特定財源	0 円			
				一般財源	4,237,685 円		
指標で表すことができない定性的な成果	繰越・継続費の状況		繰越の有無		無	継続費の設定	無



汚染した表土を除去するのに使用した重機

事業名	リサイクル館包括管理運営事業		会計	01	一般会計	予算区分	経常
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	04 衛生費	項	02 清掃費
施 策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり	目	目	02 塵芥処理費		
主管課	環境部 クリーン推進課		主管課長	南雲 嘉弘		事業コード	01 — 06
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	リサイクル館施設		リサイクル館の施設運営の適正な維持管理に努め、循環型社会を構築する。				
事業内容	リサイクル館の施設運営について、施設稼働時より行ってきた運転管理業務委託のみではなく、市が行ってきた施設整備や用役の調達も含め、包括管理運営委託をすることにより、支出の平準化を図るとともに、適正な管理運営を行い循環型社会の構築を目指すものである。						
事業の実績	資源化率	25.5	%	決算額	事業費計		202,545,000 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	202,545,000 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



クリーンセンターリサイクル館中央操作室

事業名	公共施設ごみ収集事業		会計	01	一般会計	予算区分	経常	
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	04	衛生費		
				項	02	清掃費		
施 策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり	目	02	塵芥処理費			
主管課	環境部 リサイクル推進課		主管課長	片桐 正男		事業コード	01 — 07	
事業 目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）					
	市内の直営の公共施設		流山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、公共施設から排出されるごみを事業系廃棄物として適正に処理する。					
事業 内容	公共施設から排出されるごみを事業系廃棄物として、業者委託により適正な処理を行う。							
事業 の 実 績	公共施設のごみ排出量	554	t	決 算 額	財 源 内 訳	事業費計		14,746,200 円
	対象となる公共施設数	74	施設			国庫支出金	0 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円				
			一般財源	14,746,200 円				
指標で表す ことができない 定性的な成果	繰越・ 継続費 の状況		繰越の有無		無	継続費の設定		無

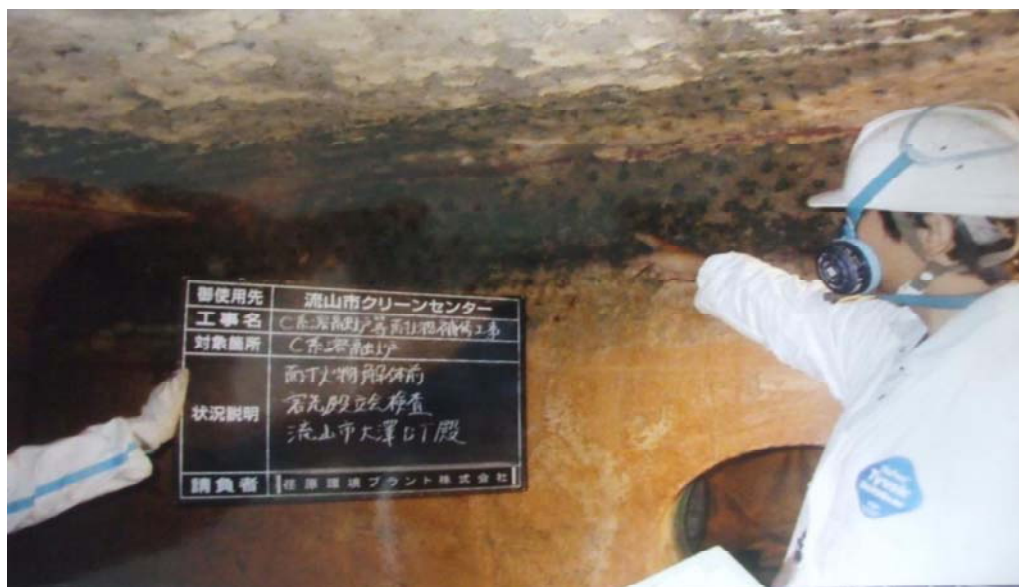
事業名	高齢者等ごみ出し支援事業		会計	01	一般会計	予算区分	経常	
政 策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予 算 科 目	款	04	衛生費		
				項	02	清掃費		
施 策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり	目	02	塵芥処理費			
主管課	環境部 リサイクル推進課		主管課長	片桐 正男		事業コード	01 — 08	
事業 目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）					
	ごみ等をごみ集積所まで排出することが困難なひとり暮らし高齢者等及び市内全世帯		ごみ排出の便宜を図るとともに、安否確認を行うことにより、独居高齢者等の福祉の向上を図る。また、ごみ集積所に排出された有害・危険ごみを適切に収集する。					
事業 内容	家庭廃棄物等をごみ集積所まで排出することが困難なひとり暮らし高齢者等に対して、戸別収集を行うとともに、排出状況について異常があれば、市の関係担当課に情報提供を行う。 また、各家庭からごみ集積所に排出される有害・危険ごみを適切に収集する。							
事業 の 実 績	ごみ出しが困難な一人暮らしの高齢者世帯数	100	世帯	決 算 額	財 源 内 訳	事業費計		13,965,000 円
	有害・危険ごみ収集運搬	4,398	か所			国庫支出金	0 円	
						県支出金	0 円	
						分担金・負担金	0 円	
						使用料・手数料	0 円	
						基金繰入金	0 円	
						地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円				
			一般財源	13,965,000 円				
指標で表す ことができない 定性的な成果	繰越・ 継続費 の状況		繰越の有無		無	継続費の設定		無



事業名	リサイクル団体育成支援事業		会計	01	一般会計	予算区分	経常
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款	04 衛生費		
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり	予算科目	項	02 清掃費		
主管課	環境部	リサイクル推進課	予算科目	目	03 リサイクル推進費		
主管課長	片桐 正男		事業コード	02 - 01			
事業目的	対象（誰を・何を） リサイクル団体		意図（どういう状態にしたいのか） 資源ごみの集団回収を通じて、リサイクルの知識を広め、実践の定着につなげることにより循環型社会の形成を図る。				
事業内容	リサイクル活動を支援するために、集団回収を実施する団体等に看板などの用具の提供や、報償金などの経済的支援を行う。また、集団回収の資源物を回収する再生資源物回収業者には奨励金を交付する。						
事業の実績	集団回収量	11,294 t	決算額	財源内訳	事業費計		209,380,178 円
	登録団体数	243 団体			国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
		その他特定財源	0 円				
		一般財源	209,380,178 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	

事業名	森のまちエコセンター放射能対策事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款	04 衛生費		
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり	予算科目	項	02 清掃費		
主管課	環境部	リサイクル推進課	予算科目	目	03 リサイクル推進費		
主管課長	片桐 正男		事業コード	07 - 52			
事業目的	対象（誰を・何を） 所有地から発生する草木等を処分する市民等		意図（どういう状態にしたいのか） 通常より放射能数値が高いため、焼却処分することができない草木等を安全に管理する。				
事業内容	東日本大震災に伴う福島第1原発事故により、森のまちエコセンターで製造していた森のエコ堆肥が販売できなくなったこと。さらに、クリーンセンターの焼却灰の放射能数値が高くなり焼却処分できなくなったことから、市内で発生する草木等を森のまちエコセンターの隣接地（旧清美園）で一時的保管をしている。						
事業の実績	仮置き剪定枝搬入量	2,779.83 t	決算額	財源内訳	事業費計		53,323,903 円
	仮置き草類（焼却場搬入不可物）搬入量	3,533.15 t			国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
		その他特定財源	0 円				
		一般財源	53,323,903 円				
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	

事業名	ごみ焼却施設整備事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款	04	衛生費	
				項	02	清掃費	
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり	目	04	塵芥処理施設整備費		
主管課	環境部 クリーン推進課		主管課長	南雲 嘉弘		事業コード	01 - 51
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	ごみ焼却施設		ごみ焼却施設の安定稼働及び適正な廃棄物処理を行うため施設修繕を行う。				
事業内容	ごみ焼却施設の定期的な保守点検整備を実施する。適正な維持管理の実施により住みよい環境の保全に努める。						
事業の実績	修繕件数	59	件	決算額	事業費計		476,620,865 円
					国庫支出金	0 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
					その他特定財源	0 円	
			一般財源	476,620,865 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無		無	継続費の設定	無



溶融炉補修工事の様子

事業名	クリーンセンター放射能対策事業		会計	01	一般会計	予算区分	政策
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	予算科目	款	04	衛生費	
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		項	02	清掃費	
主管課	環境部	クリーン推進課	主管課長	南雲	嘉弘	事業コード	01 - 54
事業目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）				
	ごみ焼却施設		クリーンセンター焼却場の溶融飛灰から28,100Bq/kgのセシウムが検出されたことから、必要措置とされる溶融飛灰の一時保管を安全かつ適正に行うものである。				
事業内容	福島第一原発の事故由来による影響により、クリーンセンター焼却場の溶融飛灰から28,100Bq/kgのセシウムが検出されたことから、必要措置とされる溶融飛灰の一時保管を安全かつ適正に行うものである。						
事業の実績	溶融飛灰一時保管量(県保管施設一時保管を含む)	1,322	t	決算額	事業費計		194,748,967 円
					国庫支出金	25,816,939 円	
					県支出金	0 円	
					分担金・負担金	0 円	
					使用料・手数料	0 円	
					基金繰入金	0 円	
					地方債	0 円	
			その他特定財源	0 円			
			一般財源	168,932,028 円			
指標で表すことができない定性的な成果		繰越・継続費の状況	繰越の有無	無	継続費の設定	無	



溶融飛灰一時保管場所の様子